

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	西部農林振興センター	氏名	荒金耕平
派遣先 団体名	特定非営利活動法人 浜田フットサルクラブ		

1. 研修の日時

- ①平成25年8月5日(月)13:00～6日(火)18:00
- ②平成25年10月14日(月・祝)8:00～16:00
- ③平成25年12月8日(日)9:00～14:00

2. 研修の内容

①EXILEカップ(中国大会)

場所:サンビレッジ浜田(浜田市上府町)

8月5日(月) 13:00～18:00 会場設営

8月6日(火) 7:30～9:00 会場設営

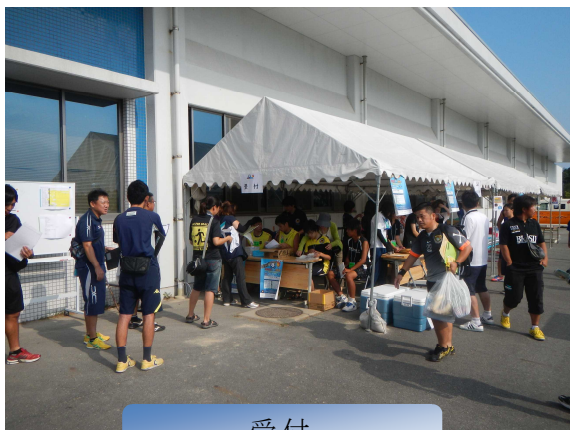
9:00～15:30 大会運営(写真撮影等)

15:30～18:00 会場片付け

EXILE CUPは小学生のフットサル大会として2010年より実施されており、今年は初めて島根県で中国大会が開催された。今回は、中国5県から48チームが集まり、10月に横浜で行われる決勝大会を目指して熱戦が繰り広げられた。

今大会の参加費は無料で、EXILECUP実行委員会が主催となり、大会に必要な大まかな道具やスタッフはあらかじめ準備されていたが、その他細々とした資材や試合審判、受付スタッフといった人員面で浜田市サッカー協会や浜田フットサルクラブの協力が非常に大きかった。

選手、スタッフ、サポートする家族など合わせると、おそらく300人以上の方が一度に会場を訪れ、日中は気温が上がり熱中症も心配されたが、運営側からの呼びかけや、会場内に置かれた飲料水の無料配布コーナーがあったため、大きな混乱無く大会は無事終了した。



受付



開会式



熱戦を繰り広げた

②企業職域対抗フットサル大会

場所:フットサルやさか球技場(浜田市弥栄町長安本郷)

10月14日(月・祝) 8:00~9:00 会場設営

9:00~15:00 大会運営(スコアラー)

15:00~16:00 会場片付け

今大会は浜田市内の企業を中心にフットサルを通じた交流を図る大会で、2011年より毎年弥栄で開催されている。今回で3回目となる本大会は、過去最多の20チームが参加、また県外からも参加が有り大盛況となった。

当日は会場横の広場で地元まちづくり団体等が屋台形式で昼食を準備するなど、地域が一体となって大会を盛り上げようと「おもてなし」された。

浜田フットサルクラブは、今大会の主催者として当日の準備から運営(試合審判や進行)、片付けまで多くのスタッフが携わった。



参加者全員で記念撮影



地元の方が屋台でおもてなし

③一日だけの水高市場

場所:紺屋町商店街 Serendipity 〜こんやお茶の間〜(浜田市紺屋町)

12月8日(日) 9:00~11:00 事前準備

11:00~13:00 イベント運営補助(呼び込み)

13:00~14:00 後片付け

こんやまち商店街開催の「一日だけの水高市場」に併せ、コミュニティースペース「Serendipity 〜こんやお茶の間〜」において、クリスマスツリー折り紙体験、養護学校学生による作品展、抹茶クッキーセットとおもち(市木小学校の餅米使用)の販売を実施した。

当日は、浜田水産高校生が実習で作成した新巻鮭や水産加工品の販売、石狩鍋のふるまいが行われ、それを目当てに100名以上の一般の方が商店街に足を運んだ。Serendipityにも50名程度の方が立ち寄り、ゆっくりお茶を飲んだり、おもちを買ったりして帰られた。



水高市場の盛り上がり



おもち販売の状況

3. 研修の感想

○フットサル大会の運営について

NPO法人浜田フットサルクラブの母体であるフットサルチーム「浜田フットサルクラブHNT/どんちっち」のメンバーが、試合審判や大会進行に携わっているため、大きな大会でも慣れており、スムーズな運営が出来ていた。EXLEカップでは子供たちが芝生の上で、思いっきりフットサルを楽しんでおり、笑顔・涙も見られた。こうした場を子供たちに提供することは、今後の活動の継続性(次を育てる)の面で非常に重要であると感じた。

○コミュニティスペースの運営について

NPO法人浜田フットサルクラブが2013年1月から運営する「Serendipity」は、紺屋町商店街でも一際新しく、目立った存在になっている。今回の水高市場では、メインのイベントは浜田水産高校生による加工品販売や石狩鍋のふるまいであったが、併せて「Serendipity」でもイベントをすることで、商店街に足を運んだ方が立ち寄れる場所として効果を発揮していた。

また、「Serendipity」は小学生が放課後くつろげる場所として普段は提供されており、その運営には県立大学の学生が関わっており、学生と地域住民のふれあう場所にもなっている。運営者との話の中で、「場所は提供してもらい、運営については任されている。好きなことが出来るので楽しくやっている。」という言葉が印象的だった。実際に「貸しBOX」といったアイデアを出すなど、「Serendipity」は始まったばかりではあるが、地域を巻き込んで今後いろいろな面白い企画が出来ると感じた。

○全体を通して

「浜田フットサルクラブHNT/どんちっち」は、F・リーグ準会員クラブに向けて取り組んでいる。今回参加した各フットサル大会の運営やコミュニティスペースの運営は、一フットサルチームが地域に溶け込み、サポートを集めるための地道ではあるが重要な活動だと感じた。

財政や人員の面では、まだ小さいNPO法人かもしれないが、行政では実行まで時間のかかる各種イベントを、様々な人が得意分野を活かして携わることで、短期間に確実に実行している印象を受けた。また、行政の中では出にくいアイデアが出る場でもあるので、活動支援はもちろん実際に活動に参加し、そうした部分を吸収したいと感じた。

4. その他特記事項

フットサルだけ聞くと運動が苦手な方は参加しにくいかもしれないが、今回の運営補助において体力やフットサルの経験は関係なかった。また、コミュニティスペース関係は商店街と一体となったイベントが多く、地域に入って活動がしたい方なら誰でも楽しく活動できると感じた。各種HPも充実しているので、事前に研修を受ける方に情報提供すると良いと考える。

(注1) 研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2) 研修終了後、報告会を開催します。